

「防災技術イノベーション研究会 Robust BOSAI シンポジウム」を開催

～Society 5.0 で防災による農林水産業のロバスト化に挑む～

【概要】

北海道大学は、2018年9月25日（火）、大学院工学研究院フロンティア応用科学研究棟 鈴木章ホール（レクチャーホール）にて、Society 5.0 を目指した高度な技術やノウハウの共有、新たな研究開発、防災教育と人材育成までを実現するための産官学民コンソーシアム設立を目指し、「防災技術イノベーション研究会*1Robust BOSAI シンポジウム」を開催します。

【趣旨】

近年、従来の発想では対応できない集中豪雨等の自然災害に、農林水産業の生産現場が脅かされています。そのため、「新たなステージ」に達した自然災害に対する生産現場のロバスト（強靱性）化は非常に重要です。地球温暖化の影響が国内他地域に比べて大きいとされている北海道において、2016年に発生した豪雨災害では、我が国の食料供給基地となっている広大な農地が甚大な被害を受け、その影響は国全体の食料問題に波及しました。また、積雪寒冷地である北海道は、冬期や融雪期の災害が数多く発生する上、大規模地震や火山噴火などが同時期に起きた場合、その災害ポテンシャルは著しく増大します。本シンポジウムでは、「防災による農林水産業のロバスト化」について考えます。

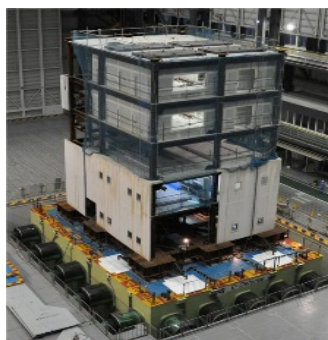
【日 時】 2018年9月25日（火）13：00～17：00

【場 所】 北海道大学大学院工学研究院フロンティア応用科学研究棟 2F
鈴木章ホール（レクチャーホール）（北海道札幌市北区北13条西8丁目）

【主 催】 北海道大学、ロバスト農林水産工学研究開発プラットフォーム*2

【対 象】 事前に参加申込をした企業、研究機関、団体、金融機関、行政など

【言 語】 日本語



E-ディフェンス免震実験



稚内駅風洞実験

【プログラム】

1. 開会挨拶（13：00～13：10）

増田隆夫（北海道大学大学院工学研究院長）

2. 趣旨説明（13：10～13：20）

野口 伸（北海道大学大学院農学研究院副研究院長）

3. 基調講演「近年の災害特性の変化について」（13：20～13：50）

清水康行（北海道大学大学院工学研究院環境フィールド工学部門 教授）

4. 新たな防災技術に関する「産・官」からの話題提供（13：50～14：50）

(1) 海洋未来都市構想 GREEN FLOAT の実現に向けて

吉田郁夫（清水建設株式会社フロンティア開発室海洋開発部 副部長）

(2) SNS を駆使した地域おこし（災害時の対応，地域の魅力発信等）

山形巧哉（北海道森町総務課 情報管理係長）

(3) 最近の気象変化に対応する技術開発（データ融合による災害時のモビリティ支援の取り組みについて等）

丹治和博（一般財団法人日本気象協会事業本部防災ソリューション事業部 技術統括）

(4) 食と観光の大地北海道における防災

今日出人（北海道大学大学院工学研究院 特任教授（元 北海道開発局長））

5. 新たな防災技術に関する「学」からの話題提供（15：05～16：05）

(5) 超小型衛星を用いた新しい防災の可能性

戸谷 剛（北海道大学大学院工学研究院 教授）

(6) 広域・局所的な防災・環境保全に向けた森林火災の高精度予測化・モニタリング等

安成哲平（北海道大学大学院工学研究院 助教）

(7) NaLA システムの概要と漁業の防災適用への可能性

高木 力（北海道大学大学院水産科学研究院 教授）

(8) 平成 28 年台風 10 号水・土砂災害への北海道大学の取り組み事例

林真一郎（北海道大学大学院農学研究院 特任助教）

6. パネルディスカッション「新しい防災によるフィールドのロバスト化」（16：10～16：50）

話題提供者：泉 典洋（北海道大学大学院工学研究院 教授）

コーディネーター：瀬戸口剛（北海道大学大学院工学研究院副研究院長）

7. 閉会挨拶（16：50～17：00）

西井準治（北海道大学 理事・副学長）

8. 交流会（17：30～18：30）

北海道大学北部食堂にて（会費 3,000 円）

お問い合わせ先

北海道大学ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点

平井計浩（ひらいかずひろ），勝山晶子（かつやまあきこ）

T E L 011-706-6741 F A X 011-706-6741 メール robust@eng.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp

【用語解説】

*1 防災技術イノベーション研究会

北海道大学とロバスト農林水産工学科学技術先導研究会が立ち上げた、Society 5.0 を目指した高度な技術やノウハウの共有，新たな研究開発，防災教育と人材育成までを実現するための産官学民コンソーシアム設立を目的とする組織。

*2 ロバスト農林水産工学研究開発プラットフォーム

現場ニーズに基づいた農林水産業の生産力，収益力を向上させるために，産学官が連携して，次世代技術を開発することでイノベーションを誘導し，農林水産業のロバスト化による地域振興と職業としての農林水産業の魅力向上を目的とした，農林水産省「知」の集積と活用の中核，産学官連携協議会，研究開発プラットフォームのこと（2018年6月29日立ち上げ）。

防災技術イノベーション研究会 Robust BOSAI シンポジウム

Society 5.0で、ロバスト防災に挑む

9.25 (火) 13時～17時

北海道大学フロンティア応用科学研究棟
2F 鈴木章ホール

参加費無料・要事前参加登録
* 交流会のみ会費制

主催：北海道大学、ロバスト農林水産工学研究開発プラットフォーム

2009-03-02 09:00 - 09:59 (UTC)

Rainfall by GSMaP IR Image (c) JMA/ESME/SAT/NOAA/JWA Background Image by ADEOS II/GLI



北海道大学とロバスト農林水産工学科学技術先導研究会は、「知」の集積と活用の中産学官連携協議会 研究開発プラットフォーム「ロバスト農林水産工学研究開発プラットフォーム」を、今年6月29日付で立ち上げ、現場ニーズに基づく次世代農林水産工学の技術開発を進めています。

しかし、近年の従来の発想では対応出来ない集中豪雨等による自然災害に、農林水産業のフィールドが脅かされています。そのため、「新たなステージ」に対応した自然災害に対するフィールドのロバスト (Robust) 化は、非常に重要であります。

今回、新たに防災技術イノベーション研究会を発足し、Society 5.0を目指した高度な技術やノウハウの共有、新たな研究開発、防災教育と人材育成までを実現するための、産・官・学・民コンソーシアム設立を目指したシンポジウムを開催致し、「防災による農林水産業のフィールドのロバスト化」を考えます。



主な プログラム

- 13:00 開会挨拶
- 13:10 趣旨説明
- 13:20 基調講演
- 13:50 新たな防災技術に関する「産・官」からの話題提供
- 15:05 新たな防災技術に関する「学」からの話題提供
- 16:10 パネルディスカッション
- 16:50 閉会挨拶
- 17:30 交流会



お申込方法

シンポジウム参加費無料

* 交流会のみ会費制 (会費: 3,000円)

申込締切日

9月20日 (木) 正午まで

* 定員 (200名) になり次第申込みが終了します。

事前申込

* 下記のサイトよりお申し込みください。

<http://www.mcip.hokudai.ac.jp/spt/robust20180925.html>

会場

北海道大学フロンティア応用科学研究棟 2F 鈴木章ホール (レクチャーホール)

<https://www.hokudai.ac.jp/bureau/property/fcc/>

札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学大学院工学研究院 フロンティア応用科学研究棟

■ JR「札幌駅」下車、徒歩21分 ■ 市営交通・地下鉄南北線「北12条駅」下車、徒歩12分

「北18条駅」下車、徒歩10分

● お問い合わせ

北海道大学ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点

TEL.011-706-6741 E-mail: robust@eng.hokudai.ac.jp (*を@に)



13：00

開会挨拶 増田 隆夫 教授 工学研究院長 進行 中村 孝 教授 工学研究院
趣旨説明 野口 伸 教授 農学研究院 副研究院長

13：20 基調講演

「近年の災害特性の変化について」
清水 康行 教授 工学研究院

13：50 新たな防災技術に関する「産・官」からの話題提供

「海洋未来都市構想GREEN FLOATの実現に向けて」
吉田 郁夫 清水建設(株) フロンティア開発室 海洋開発部副部長
「SNSを駆使した地域おこし（災害時の対応、地域の魅力発信等）」
山形 巧哉 北海道 森町 総務課 情報管理係長
「最近の気象変化に対応する技術開発（データ融合による災害時のモビリティ支援の取り組みについて等）」
丹治 和博 日本気象協会事業本部 防災ソリューション事業部技術統括
「食と観光の大地北海道における防災」
今日出人 特任教授 工学研究院（元 北海道開発局長）

14：50～15：05 休憩

15：05 新たな防災技術に関する「学」からの話題提供

「超小型衛星を用いた新しい防災の可能性」
戸谷 剛 教授 工学研究院
「広域・局所的な防災・環境保全に向けた森林火災の高精度予測化・モニタリング等」
安成 哲平 助教 工学研究院
「NaLAシステムの概要と漁業の防災適用への可能性」
高木 力 教授 水産科学研究院
「平成28年台風10号水・土砂災害への北海道大学の取り組み事例」
林 真一郎 特任助教 農学研究院

16：10 パネルディスカッション：新しい防災によるフィールドのロバスト化

パネリスト：泉 典洋（北海道大学 工学研究院 教授）および上記の話題提供者
コーディネーター：瀬戸口 剛 教授 工学研究院 副研究院長

開会挨拶 西井 準治 理事・副学長

終了予定 17：00

17：30 交流会

北海道大学北部食堂（会費：3,000円）、事前に申込のうえ当日受付にてお支払いください。

*プログラム内容は予告なく変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

